

会 議 録		令和 8 年 7 月 6 日作成	令和12年 3 月末日廃棄
会議名	京都府田辺警察署協議会（令和 8 年度第 1 回）		
開催日	令和 8 年 7 月 6 日（月曜日）		
時 間	午後 1 時30分から午後 3 時までの間（90分）		
場 所	京田辺市立社会福祉センター 2 階第 2 研修室		
出席者	松井会長、垣内副会長、花木委員、今井委員、北見委員、中川委員、岡田委員、水船委員 （欠席 柳委員） 計 8 人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長、広聴・相談係長 計 9 人		
諮 問 事 項	自転車に対する交通取締りの現状と自転車事故防止対策について		
会 議 内 容	1 会長挨拶 司会 副署長 2 署長挨拶 3 協議 司会 副会長 諮問事項説明 自転車に対する交通取締りの現状と自転車事故防止対策について～交通課長 【委員】交通事故の発生件数について説明を受けたが、交通事故の類型について教えてもらいたい。 【警察】昨年 1 年間の交通事故発生件数は、 113 件である。死亡者は 2 名で、負傷者は 126 名である。交差点やその付近での交通事故の発生が 6 割になる。特に多いのが、出会い頭や追突事故である。幹線道路ではなく、市道や町道での発生が多い。走り慣れた場所での出会い頭の事故が多いので、特に注意が必要である。状態別では、自転車の事故が 27 人で、前年対比+ 8 人、歩行者の事故が 19 人で、前年対比+ 3 人と増加している。 【委員】私は、仕事柄、車を利用することが多い。幹線道路は、車が多く、そこそこスピードが出て怖いという意識がある。 先ほど、交通事故の発生の地図を見せてもらった。 子供は、住宅街の細い道の中抜けしたり、話しながら自転車に乗っている。 また、通勤や帰宅の時間帯に、人が急に出てきて怖い思いをしたことがあった。電動自転車もスピードが出て怖いこともある。		

会 議
内 容

【委員】青切符が導入されて、通勤、通学の時間帯に、イヤホンをつけて自転車に乗ったり、携帯を触って乗っている人が減ってきていると思う。

【委員】有効な交通対策はあるのか。

【警察】指導書を取ることで、効果が出たと考えている。

【委員】車を運転していた時、自転車に乗っている人が前にいたが、追越し禁止車線の道路であり、その後ろについて運転したことがある。

【警察】車が自転車を追い越す際は、おおむね1メートルの間隔をあける必要がある。その間隔をあけることができない場合は、低速で走行する必要がある。

【委員】以前、お店の従業員に対して警察から交通安全の指導をしてもらったことがある。

当店には、技能実習生の外国人のお客さんが来られるので、そのような方にもチラシを渡すなど、広報の協力をしたいと思っている。

【警察】交通対策のチラシ等を持参させてもらうので、配布の協力をお願いします。

【委員】飲酒運転の罰則が厳しくなったり、青切符の導入も賛否両論がある。自転車への青切符が導入され、この4月になると、ガラッと変わるのかなと思っていたが、そのような感じはない。

警察のみの活動以外に、市としてできることがあれば協力したいと考えている。

【警察】ヘルメット着用促進宣言事業所として認定をさせてもらい、職員の方々にもチラシを渡してもらうなど、広く周知ができると思う。

【委員】自転車のルールに関するチラシの案内がきたので、自転車のルールブックを見た。50ページほどあったが、文字ばかりで分かりづらかった。

標識等の説明があるチラシがあると、分かりやすいと思う。

【委員】イラストなどがあると、子供にも分かりやすいと思う。

【警察】自転車のルールブックは、ほぼ文字での説明である。

【委員】ゲーム感覚でできるものがあるといいと思う。

知らず知らずのうちに、交通ルールを覚えるのではないかと思う。

【警察】シミュレータ教材などがあり、実施している。

【委員】自転車は、生活のツールとして利用する面と、スポーツとして利用する面がある。スポーツとして利用する方は、ヘルメットを被るなどルールを分かっている成人が多いと思う。

運転免許証を持っていない人は、予想がつきにくい運転をしていると感じる。また、左側通行なのに逆走してくる方もいる。しかし、運転免許証を持っていない人には、自転車に乗る以上、お互いに責任が伴うことを伝える必要があると思う。

自転車と自動車の共存に向け、今後、啓発や講習、免許更新での研修が必要だと思う。

【委員】発達段階に応じて、自転車に乗ることで加害者になることを意識して運転する習慣をつけることが必要だと思う。そこで、例えば、子供に抵抗なく注意を促せるように、自転車のハンドル等に貼れるようなシールなどを考えて

会 議 内 容	みてはどうか。 また、京田辺市の道路には、自転車が行走する場所にペイントされている箇所はあるか。 【警察】多くはないが、ある。ペイントの効果はあると考えている。 【委員】道路に表示されたブルーラインは、自転車利用者もここを走っていいという意識が感じられると思う。 田辺警察署の前にもブルーラインがある。滋賀県にはブルーラインが多い。ブルーラインを引くことで、歩道を走る自転車も少なくなると思うので、ブルーラインを整備していく必要があると思う。 【委員】道路標示があれば、自転車利用者も慎重に走ると思う。 小学校の児童に、警察が自転車の乗り方を教えてくれているが、乗り方に加えて、加害者にもなりうることを教育していく必要があると思う。 また、自転車にも導入された青切符の啓発も必要だと思う。 今年の４月以降に、自転車の交通取締りをしているのか。 【警察】通常の交通取締りと併せて、自転車の交通取締りをしている。 【警察】本日協議していただいた交通安全教育に関して、警察本部とも共有したいと思っている。自転車への青切符が導入され、約３箇月経つが、交通安全教育と交通取締りを行い、自転車利用の安全に向け、行政や店舗の協力を得て、啓発活動を行っていく。 4 事務連絡 令和８年度第２回田辺警察署協議会は、令和８年９月下旬に実施予定である。 以上
--------------------	---

第1回京都府田辺警察署協議会の開催状況

